



保育園体験研修を行う小学校教諭

- ・ 基本的な生活習慣を身に付け、自分から進んでできる子ども
- ・ 進んであいさつや返事をする。
- ・ 食事のマナーを身に付け、好き嫌いをしないで食べる。
- ・ 早寝早起きの習慣を身に付ける。
- ・ 手洗い・うがい・歯みがきの習慣を身に付ける。
- ・ 自分で衣服の着脱をし、必要に応じて調節する。
- ・ 遊びに使ったものを片付け、自分の持ち物を整理する。
- ・ いろいろなものに興味や関心をもち、友達と意欲的に遊ぶ子ども
- ・ 友達とルールを守りさまざまに遊びをする。
- ・ 自然や身近な事物・事象に関する。

実態調査や分析から、課題を次の四つに絞り込み、調査・研究・試行

二、追求する課題

- ・ 心をもち、生活や遊びに取り入れたり工夫したりする。
- ・ 人の気持ちに分かり、自分の思いを言葉で伝えられる子ども
- ・ 人の話を注意して聞き、自分の考えや気持ちを相手に分かるように話す。
- ・ 「絵本」や「お話」を楽しむ。
- ・ 人や自然とのふれあいの中で、命の大切さが分かる子ども
- ・ 身近な動植物を大切にしたり世話をしたりする。
- ・ 危険なことが分かり、約束を守って安全な生活をする。

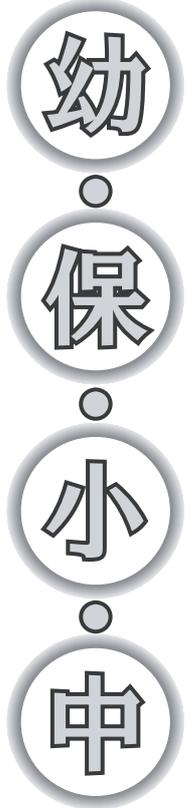
問い合わせ先 学校教育課
☎(48)11111 (内202)

- ・ 本年度の試行(十月～十一月)を踏まえ、親子ふれあい読書キャンペーンを実施する。
- ・ 保育士や幼稚園教諭による小学校学習指導補助を行う。また、小中学校・幼稚園教諭の保育園体験研修を行う。
- ・ 幼稚園・保育園の職員交流の充実を図る。

今回から、五つの部会から報告された内容を掲載していきます。今回は幼児教育研究部会です。

方向性

一貫教育プロジェクト



一、目指す六歳児像

阿久比町八保育園・幼稚園年中長児の保護者と全保育園保育士・幼稚園教諭を対象に行った実態調査(平成十八年二月実施)から次のように設定しました。



幼・保・小・中作品展(阿久比中学校体育館)

三、課題解決に向けた提案・提言

一歳から五歳までの各年齢ごとの目指す姿
小学校と保育園・幼稚園との連携の在り方
保育園、幼稚園の連携の在り方
保護者への啓発と連携の在り方
次五つの提案・提言がされました。